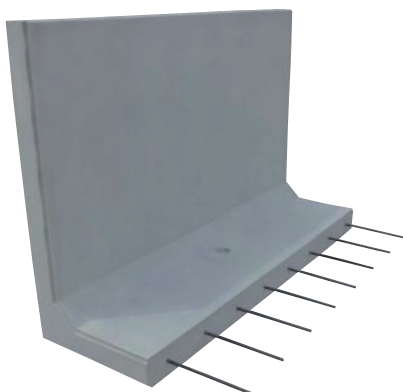


L型水路



説明

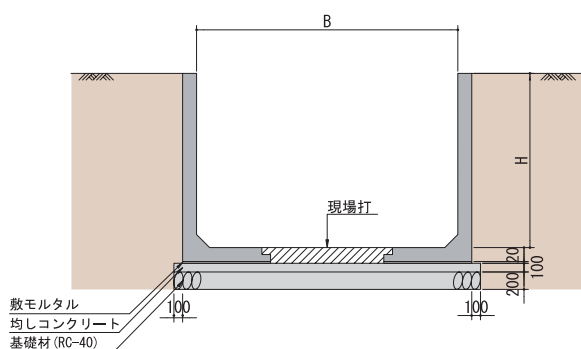
L型水路は、側壁と底版の一部を構成するL型ブロックを左右両側に設置して底版の中央部を現場打鉄筋コンクリートで連結し、一体化させます。

従って、他の二次製品水路と異なり水路幅を自由に調整することができる他に左岸・右岸の地盤高に段差がある場合にはそれぞれに対応したL型ブロックを使用することもでき、現場の条件に対応することができます。

特長

- ・現場打水路に比べ、工期の短縮と省力化が図れます。
- ・水路高さは0.6mから3.0mまで対応できます。
- ・屈曲箇所でも対応可能です。
- ・突き出し鉄筋にはねじ切りが付いており、L型ブロック設置後に鉄筋を取り付けることが出来ます。
- ・ボルト連結により不動沈下を防止します。
- ・ウィーブホイール（逆止弁）もオプションで付けることが出来ます。

標準構造図



設計条件

項目	長期
	常時
上載荷重	$Q = 10.0 \text{ kN/m}^2$
土の単位体積重量	$\gamma_c = 19.0 \text{ kN/m}^3$
土の内部摩擦角	$\phi = 30^\circ$
コンクリートの設計基準強度	
製品	30N/mm ²
現場打	24N/mm ²

01

新製品

02

擁壁

03

BOX

04

VS側溝

05

道路用
製品

06

柵

07

バイコン
製品

08

ブロック
製品

09

農業土木
・
水路製品

10

通信

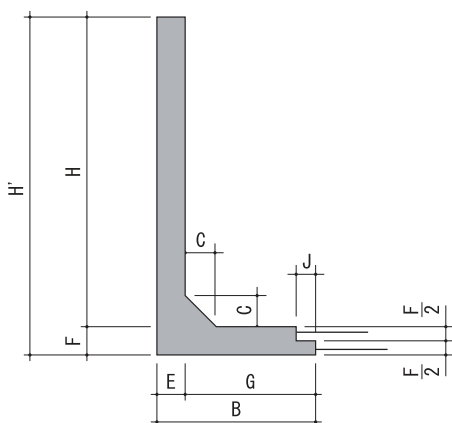
11

その他

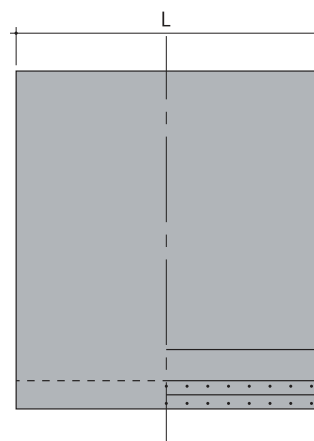
L型水路

■形状寸法

断面図



側面図



■寸法重量表

H (mm)	B (mm)	L (mm)	E (mm)	G (mm)	J (mm)	C (mm)	H' (mm)	参考重量 (kg)
600	600	1997	120	480	—	100	740	805
700	600	1997	120	480	—	100	840	865
800	600	1997	120	480	—	100	940	925
900	600	1997	120	480	—	100	1040	985
1000	600	1997	120	480	—	100	1140	1045
1100	600	1997	120	480	—	100	1240	1105
1200	600	1997	120	480	—	100	1340	1165
1300	600	1997	120	480	—	100	1440	1225
1400	600	1997	120	480	—	100	1540	1285
1500	600	1997	120	480	—	100	1640	1345
1600	800	1997	140	660	100	150	1780	1851
1700	800	1997	140	660	100	150	1880	1921
1800	800	1997	140	660	100	150	1980	1991
1900	900	1997	170	730	100	150	2080	2436
2000	900	1997	170	730	100	150	2180	2521
2100	900	1997	170	730	100	150	2280	2606
2200	1100	1997	200	900	100	200	2400	3350
2300	1100	1997	200	900	100	200	2500	3450
2400	1100	1997	200	900	100	200	2600	3550
2500	1200	1997	230	970	100	200	2730	4298
2600	1200	1997	230	970	100	200	2830	4413
2700	1200	1997	230	970	100	200	2930	4528
2800	1510	1997	260	1250	100	200	3060	5638
2900	1510	1997	260	1250	100	200	3160	5768
3000	1510	1997	260	1250	100	200	3260	5898

1. H600～1500については、つき出し鉄筋はシングルとなります。